

復職者支援講習会Ⅰ

都技生涯研修

[講師及び演題]

講師 榊原 功二 先生 ……咬合再構築の要件 「Sequential Occlusion」

[定員]

60名

[受講費]

無 料

[受付申込方法]

当日受付（申込不要）

[会場]

フクラシア東京ステーション



●JR[東京駅]／地下鉄[大手町]駅→地下直結・B6出口直結
●JR[東京]駅→日本橋口徒歩1分

駐車場がございませんので、お車でのご来場はご遠慮願います。



←こちらより地図にアクセスしていただけます。

[お問い合わせ]

一般社団法人 東京都歯科技工士会

〒170-0004 東京都豊島区北大塚2-2-10 ヴィップ大塚香川ビル4F

FAX : 03-3576-5615

令和元年度

復職者支援講習会Ⅰ



Tokyo master course Science Lecture

都技生涯研修

[開催日時]

令和元年 **7月28日** 日

受付 12:30 開始 13:00 → 終了 17:00

[会場]

フクラシア東京ステーション
C会議室

[講師]

榊原 功二 先生

[演題]

咬合再構築の要件
「Sequential Occlusion」

[担当] 中央ブロック

一般社団法人 東京都歯科技工士会

咬合再構築の要件
Sequential Occlusion

歯冠の形態は完全に遺伝的に決定される唯一の器官であります。それゆえに口腔、咀嚼系の諸構造は歯に影響されるということであり、歯の形態そこには生理的な下顎位、下顎の機能的な運動、効率的な咀嚼のパターン、顎骨の発育、咀嚼筋の機能、顎関節の機能的な運動経路など多くの咀嚼システムの機能に関する情報が凝集している。これらの理解を深めるためにWaxingは最も有効な方法である。

また最近では下顎運動計測器やCAD/CAMなどコンピュータが導入されソフトを使った歯牙形態作成など歯科界も大きく変革しているが、CAMの工程で技工士に前述した必要不可欠な咬合再構築のためのルールを供覧いただき、患者個々の口腔内に適応する補綴装置の完成を目指したい。

■講師略歴

榎原 功二

[さかさばら こうじ]



- 1968(昭和43年) 愛歯技工専門学校卒業
愛歯技工専門学校助手として5年間勤務
- 1974(昭和49年) 東京都日本橋 矢沢歯科医院入社
(元日本顎咬合学会会長、矢沢一浩先生)
- 1986(昭和61年) 東京都日本橋 矢沢歯科医院退社
- 1986(昭和61年) 東京都目黒区にて開業
- 1994(平成6年) オーストリア、ウィーン大学留学(短期)
- 1997(平成9年) ウィーン大学公認指導技工士
- 2001(平成13年) 日本技工士会認定講師
- 2009(平成21年) 日本顎咬合学会 噛み合わせの科学 編集委員
- 2011(平成23年) 日本顎咬合学会理事
- 2013(平成25年) 日本顎咬合学会常任理事 歯科技工士部会部長
現在に至る